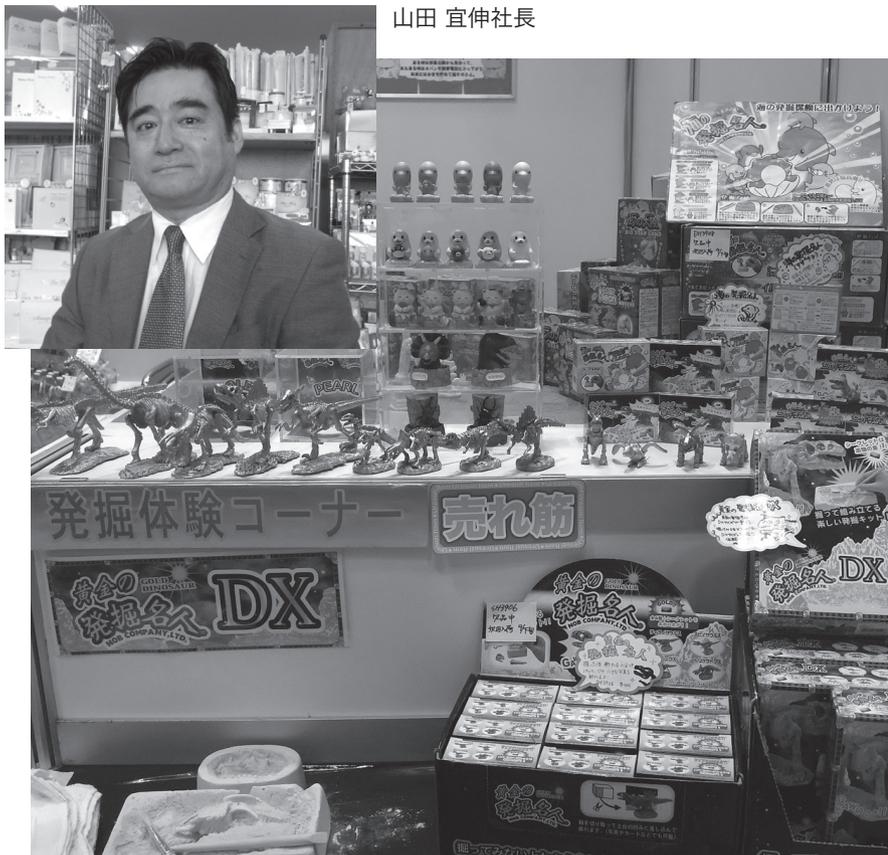


東京インターナショナル・ギフト・ショー通算 35 回出展

「高品質・安心価格・信頼サービス」を モットーに、笑顔を届ける商品を創る



山田 宜伸社長

第 70 回東京インターナショナル・ギフト・ショーのブース。「発掘名人」シリーズを使って発掘体験するコーナー。見ているだけでわくわくする

おにぎりの中から鰹をかかえた猫が出てきて、「今日がダメでも明日は勝つお」と微笑む。幸運祈願の干支置物「夢みてうーたん」が、お月様の上ですやすや眠る。ノブカンパニーのブースには、思わず足を止めてしまうファンシーな雑貨や縁起物のギフト商品、お土産品がいっぱいだ。それらをじっと見ていると、緊張がほぐれ、ほおが弛み、無意識のうちに関心になってしまふ。

●ポリレジンの魅力を生かした製品作り
(株)ノブカンパニー(大阪府豊中市/山田宜伸社長)は、一九八九年(平成元年)の創業。翌年開催された「国際花と緑の展覧会」に知人から誘われてブースを出しガーデニング関連商品を並べたのがきっかけとなった。その後、山田社長はイベント用に商品を販売するだけでなく、自社のブランドを持ちたいとメーカーを目

指し、ポリレジン(不飽和ポリエステル樹脂)に着目した。ポリレジンには不飽和ポリエステル樹脂に石膏・硬化剤を入れて固めたもので、造形的に繊細な型作りを可能にし、さまざまな素材感をリアルに表現することができると特徴である。
販売先開拓のため一九九三年春初めて東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、以後七〇回まで連続出展してきた。

園芸ブームに乗り、プランターや植木鉢カバーが売れた。一方で複数のアミューズメントやファンシー雑貨メーカーからOEMの受注も入るようになった。布やガラスなど素材の幅も広げ、出展の度にアイテムを増やし販売先を広げてきた。

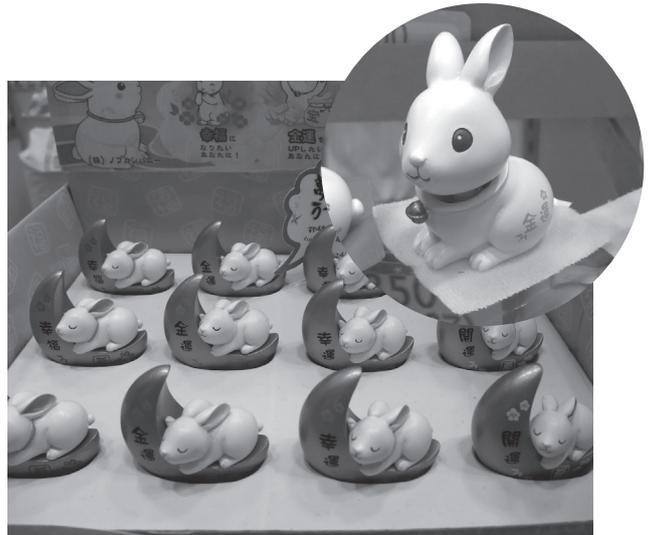
●内祝いギフト・ノベルティ
取引先は、全国のギフト・ファンシー雑貨・土産品などの卸問屋、小売店、キャラクター版権会社、大手テーマパークなど、幅広い。

『月刊ぎふと』の読者エリアである「ギフト業界」でも、ノブカンパニーの商品はすっかりおなじみとなっている。

チャネルの開拓には、プレミアム・インセンティブショーへの出展が役立った。二〇〇一年秋の第二四回から三五回まで、通算六回出展した。主力は出産祝い・内祝いのアルバムやフォトフレーム、身長計など。贈



出産のお祝いにぴったり。タオル素材の「メモリアルバム」とフレームのセット



「夢みてうーたん」は開運マスコット。大きさもタイプもいろいろ。顔の表情が実にかわいらしい



かいた絵がステッカーになる「お絵かき名人マジックステッカー」にはいろいろなタイプがある



開けたらにっこり「にゃんむすび」

●工場との信頼関係を大切に
オリジナル製品のメーカーにとつ

「お絵かき名人マジックステッカー」は特殊ペンでかいた絵が乾くと
はがせて、そのままステッカーとして
貼ることができる工作キットだ。
今年七月五日、NHKの朝のニュー
ス番組で、この商品を使って楽しむ
子どもたちの様子が紹介された。

●手作り意欲に応える「発掘名人」と「お絵かき名人」
飾って楽しんでもらう、いわゆる
置物を主流とする同社が、使って楽
しんでもらう商品を開拓した。それ
は「発掘名人」と「お絵かき名人」。「発
掘名人」には、恐竜が出てくるもの、
イルカが出てくるもの、アザラシが
出てくるものがある。また、「温泉
の発掘名人」というのもあり、どれ
もユニークだ。発掘した後も占いが
できるなど、うれしい仕掛けがつい
ている。

●企業の販促品として喜ばれる置物
もギフト業界で好評だ。冒頭に記し
たおにぎりの中から猫が出てくる
「にゃんむすび」は人気商品。来年
の干支がうさぎであるので「夢見て
うーたん」は、まさに今イチオシの
キャラクターだ。

「お絵かき名人マジックステッカー」は特殊ペンでかいた絵が乾くと
はがせて、そのままステッカーとして
貼ることができる工作キットだ。
今年七月五日、NHKの朝のニュー
ス番組で、この商品を使って楽しむ
子どもたちの様子が紹介された。

●工場との信頼関係を大切に
オリジナル製品のメーカーにとつ

「お絵かき名人マジックステッカー」は特殊ペンでかいた絵が乾くと
はがせて、そのままステッカーとして
貼ることができる工作キットだ。
今年七月五日、NHKの朝のニュー
ス番組で、この商品を使って楽しむ
子どもたちの様子が紹介された。

●工場との信頼関係を大切に
オリジナル製品のメーカーにとつ

て、生産工場、問屋、小売店、すべてが大切なビジネスパートナーであるのはいままでもない。

なかでも山田社長が大事にしているのは工場との信頼関係だという。

「製造は中国の工場に委託しています。言葉も感性も何もかも異なる人たちに作ってもらうので最初は大変でしたが、長くおつきあいでいくうちに、言葉より気持ちが先に通じるようになりました。期日を守ることに、検品、梱包を丁寧に確認に行うことなど当たり前のことですが、信頼関係がないとうまくいかないのです。当社の商品は成形から着色・仕上げまで、ほとんど全てを一つ一つ手作業で行っています。温かみのある手作り感を大切にしながら、こだわりのある商品作りをこれからも続けていきます」。

山田社長は商品への思いを熱く語る。厳しい方だと聞いていたが、東京ギフト・ショーのブースで、突然の取材に快く応えてくれた。

——会社概要——

社名 株式会社ノブカンパニー
代表取締役社長 山田宜伸
創業 平成元年八月
設立 平成七年四月
所在地 大阪府豊中市山ノ上町八の十
TEL 〇六(六八五七)〇〇二五
事業内容 ファンシーインテリア雑貨、ギフト商品、観光土産品、キャラクター商品の企画・製造・卸売販売